

事務事業マネジメントシート
(兼)予算編成資料・実施計画資料

作成日 H 25 年 3 月 22 日作成

事務事業名	介護予防普及啓発事業(栄養改善事業)				□ 実施計画事業	所属部局 保健福祉部	単位番号 T440
	所属課室 介護福祉課	課長名 樋口敏明					
			所属担当 高齢者福祉担当	担当者名 川崎誠一郎			
基本政策 IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目 会計 名称 款 項 目 細目 細々目 04 介護 04 01 02 002 02						
		政策 17 社会福祉の充実	事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金				
				施策 27 地域福祉の充実	事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H24 ~ H26 年度)	法令根拠 介護保険法第115条の44	
事業の内容 事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 社会福祉協議会に委託している生きがい活動支援通所事業参加者を対象に(介護予防栄養改善事業)を実施する。 ・生きがい活動支援通所事業を行っている22地区8会場において開催 ・対象者65歳以上の高齢者	事業費の主な内訳 (24年度 決算見込) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円) 講師謝金 175 消耗品 57 計 232						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
24年度活動実績	生きがい活動支援通所事業を行っている22地区において栄養改善における講義を実施した。
25年度活動予定	生きがい活動支援通所事業が10月から時間短縮となるため休止し、市内2カ所で講座等を開催する。
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
	生きがい活動支援通所事業を利用している65歳以上高齢者
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)	
	生きがい活動支援通所事業のなかで本事業を取り入れることにより、効率的に介護予防の普及啓発ができる。
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
	介護予防の重要性の意識を高める。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア:開催回数	回
イ:	
ウ:	
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア:参加者	人
イ:	
ウ:	
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア:参加者	人
イ:	
ウ:	
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア:高齢者福祉の満足度	%
イ:	

(2) 事業費・指標の推移		単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算見込・実績)	25年度 (予算・目標)	26年度 (次年度計画・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間事業費 トータルコスト	財源内訳	国庫支出金 千円	60	58	12	12			
		県支出金 千円	30	29	6	6			
		地方債 千円							
		その他 千円	123	96	18	18			
		一般財源 千円	30	49	10	10			
		事業費計 (A) 千円	243	232	46	46	0	0	0
人件費	正規職員従事人員	人 時間	1	1	1	1			
			延べ業務時間	10	10	10	10		
		人件費計 (B) 千円	40	40	40	40	0	0	0
		(A)+(B) 千円	283	272	86	86	0	0	0
活動指標		ア:回	22.0	2.0	2.0	2.0			
		イ:							
		ウ:							
対象指標		ア:人	350.0	202.0	40.0	350.0			
		イ:							
		ウ:							
成果指標		ア:人	350.0	202.0	40.0	350.0			
		イ:							
		ウ:							
上位成果指標		ア: %	25.7	30.0	30.0	30.0			
		イ:							

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	介護保険法による地域支援事業創設により、介護予防を促進するため開始された。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか?また、今後の予測は?	介護予防について意識する高齢者は増えている。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	栄養改善事業については好評である。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容↓】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	参加者が高齢者であるため、理解しやすい内容・資料へ変更した。
③ H 24年度に実施した改革改善の内容	

事務事業名	介護予防普及啓発事業(栄養改善事業)	所属部	保健福祉部	所属課	介護福祉課
-------	--------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 介護保険法及び市の高齢者保健福祉計画に基づき実施され、市の施策と結びついている。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 高齢者保健福祉計画に基づく講師の派遣事業であり、市が行うことは妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
有効性評価	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 介護保険法に基づく事業であり妥当であるが、生きがい活動支援通所事業が時間短縮になり、介護予防に特化した内容になると生きがい活動支援通所事業参加者に限定されてしまうこと、及び各地区1回のみの開催であることなど、普及啓発という意味で必要性を見直す余地はある。
	④成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 講義場所を変更するなど、生きがい活動支援通所事業参加者だけでなく、さらに広く介護予防について普及啓発ができるよう向上の余地がある。
効率性評価	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 介護予防が計れない <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 介護予防が計れない
公平性評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 必要な経常的経費のみとなっている。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 事業計画および講師との日程調整に係る経費であり削減の余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 各地区において講師の派遣を行っており公平・公正である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	自分の健康状態と栄養の状況を認識することは、介護予防を図るために簡単で有効な方法であり、事業効率を高めながら継続する。
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																			
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果)	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td>成績</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>	コスト水準				削減	維持	増加	成績	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		低下	<input type="checkbox"/>		
コスト水準																				
	削減	維持	増加																	
成績	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																	
維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																		
低下	<input type="checkbox"/>																			
<input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切)																				
<input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)																				
(2) 改革改善案について	(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策																			
① ② ③	① ② ③																			
(5) 事務事業優先度評価結果	成果優先度評価結果																			
	コスト削減優先度評価結果																			